

報恩寺だより

平成17年4月17日
綾瀬市寺尾南 2-10-1
おたすけ観音 報恩寺
電話 0467-78-7160
FAX0467-79-1567

大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

期日 5月17日(火)
日程 午後1時 御詠歌
午後2時 大般若祈祷会
午後3時 小斎

祈祷料(2000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、当日御志納お願い致します。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

山口金次郎 様	蛭子幸三郎 様	橘川文夫 様	蛭子幸三郎 様
近藤嘉久 様	早川雪男 様	荒川陽子 様	重森信一郎 様
森山 茂 様	橘川郁夫 様	奥津政司 様	石川 晃 様
山口裕久 様	小山田兵衛 様	近藤信吾 様	笠間孝夫 様
小山 昇 様	笠間 功 様		

今を生きる

インゲン豆のつるは、下から見れば支柱に右巻きにまとわりついて成長します。

そのつるを紐ひちでしばって、真っすぐに伸ばして育てると、豆の収量が 1.5 倍になるといいます。それを逆に左巻きにして成長させると、収穫量は 2 倍にふえるという実験が報告されています。

うなぎの養殖では、稚魚のシラスをカナダから飛行機で輸入するものらしいのですが、12 時間も空輸されるうちに 8 割から 9 割は死んで届けられるそうです。

その中になまずなまずを放して運ぶと 2 割はなまずに食べられてしまいますが、8 割はいきいきとして日本に着くということです。

植物でも動物でも、順調な環境でぬくぬくと育つより、多少逆境にさらされると生命力が活気づく、ということでしょうか。

今、私達はとても便利で快適な環境で暮らしていますが、その半面、多くの人々が無気力、無感動、無関心の三無主義的なものを感じているといわれています。

この三無主義も、心の逆境とらと捉え、やる気の無い状況から抜け出し、前向きに今を生きていこうと思えば、生命力は活気づいてくるのではないのでしょうか。

「艱難かんなんなんじ 汝たまを玉にす」という言葉は、苦しい事や つらい目にあって後初めて一人前の人間となる、という意味ですが、自分がとつても、大変だと感じているとき、そんな時こそ、充実しているときなのではないのでしょうか、また、物質的に恵まれていても、心が満たされず悲哀感を感じていたとしても、その経験も貴重な修行なのではないのでしょうか。

私は最近、「何のために生まれてきたのだろう」という、自分自身の疑問に対し、「今を生きるために生まれてきた」、辛いことや、悲しいこと、悔しいこと、そして、楽しいこと。全てを体験するため、「今を生きる」。私は今そんな思いで日々過ごしています。